

岩手県における障がい者雇用事例

いわて生活協同組合

(平成28年度 障害者雇用優良事業所 厚生労働大臣表彰)

いわて生活協同組合は、障がい者の雇用及び障がい者が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいることから、平成28年度に障がい者雇用優良事業所として厚生労働大臣表彰を受賞しました。今回、事業本部を訪問し、お話を伺いました。

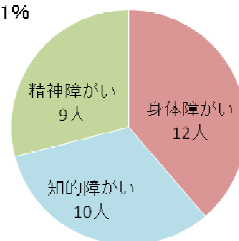


いわて生活協同組合

【本部所在地】 滝沢市土沢220-3
【事業内容】 小売業
【従業員数】 約2,100名 (H29.1時点)

障がい者雇用状況 (H28.6時点)

・全 31人
・障がい者雇用2.1%



◆ 障がい者雇用の経緯、背景

「ハンディを持った人が働きやすい職場は、職員みんなにとっても働きやすい職場」を基本的な考えに置き、平成14年に「障がい者雇用推進チーム」を発足。現在は31人の障がい者を雇用しており、平成24年度には障害者雇用優良事業所(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰を受賞しています。

◆ 障がい者が従事している作業内容

店舗では惣菜部門でのお弁当などの製造、農産部門での野菜・果物の袋詰め、品出し、一般食品部門では食品補充や前出し作業、本部では一般事務など、基本的に健常者と同じ仕事をしています。

◆ 障がい者を雇用する上で工夫していること

困ったことが起きたら、障害者職業センターなどの支援機関と協力して解決をしています。例えば、発達障がいでのコミュニケーションを取るのが苦手な職員には、昼食休憩の時間をずらし、落ち着いて休んでもらえるようにしています。また、人事異動で上司が代わるときには、障がいのある職員が苦手なことなどの申し送りをを行い、障がいのある職員がなるべく負担を感じないように配慮しています。

◆ 障がい者が働く上で必要なこと

わからないことは自分で判断せずに、周りの人に聞くことが大切です。食品を扱う仕事は衛生面での決まり事も多く、確実に仕事をしなければなりません。あと、何か間違ったときは、素直に言うことが大事ですね。(総務担当 女鹿さん)

◆ 障がい者雇用を検討している事業所へのアドバイス

ハローワーク、障害者職業センターなどの支援機関やトライアル雇用などの支援制度を上手く活用した方がいいと思います。(金子常務理事)

健常者にもいろいろな人がいるように、障がい者にもいろいろな人がいます。障がい者を1人雇用してみて上手いかわなくても、今後の採用に活かされます。職場に合う人を見つけていく根気よさが重要だと思います。(総務担当 女鹿さん)

◆ 就労を希望している障がい者へのメッセージ

元気なあいさつや報告・連絡・相談など、基本的なことをできる力を身に付けることが重要です。企業に応募するときは、その企業のことを事前に知っておくことも大切ですね。(金子常務理事)

失敗することも経験です。間違いを怖がらずに興味を持ったなら積極的に挑戦してほしいと思います。初めは時間がかかっても前向きに頑張れば、その仕事のプロにもなれますし、周囲もその頑張りを認めてくれます。(総務担当 女鹿さん)

【取材：雇用対策・労働室】